



独立行政法人  
大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

# 機構ニュース

Vol.169 2017 June

## 今月の記事

### Top News

○APQN2017年次会合に出席 ……………1

### 学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与

○302人から学士の学位授与の申請 —平成29年度4月期申請分— ……………2

○2,181人に学士の学位を授与 —平成28年度10月期申請分— ……………5

○これまでの学位授与の状況（学士） ……………7

○短期大学及び高等専門学校の専攻科認定状況 ……………8

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

○58人から修士の学位授与の申請—大学院修士課程相当の課程修了者— ……………9

○7人から博士の学位授与の申請—大学院博士課程相当の課程修了者— ……………9

○これまでの学位授与・課程認定の状況 ……………10

### 評価事業

国立大学法人等の教育研究評価について

○国立大学法人等の第2期中期目標期間における教育研究の状況の評価結果について ……………12

### 質保証連携

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○平成29年度大学質保証フォーラム開催決定 ……………13

### 機構の窓

○会議の開催状況 ……………14

○委員の異動 ……………15

### 主要行事日程

○Schedule（6月～8月） ……………19

## TOP NEWS

### ○ APQN2017年次会合に出席

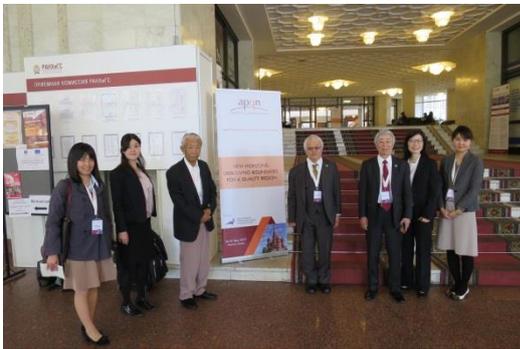
平成29年5月26日（金）から27日（土）にかけて、アジア太平洋質保証ネットワーク（APQN: Asia-Pacific Quality Network）の年次会合がロシアのモスクワで開催されました。当機構は本ネットワークの正会員であり、福田機構長、木村顧問、岡本理事、金研究開発部准教授及び国際課職員が出席しました。

「ニューホライズンズ：質保証の境界の解消」をテーマにした今年の会合は、4つの基調講演とパネルディスカッション、及び3つの分科会で構成され、APQNの取組である Consultant Database（大学評価等のデータベース）の改訂について議論する場も設けられました。

国境を越えた協力関係を促進することを目的として作成されたベンガルール宣言や国境を越えた質保証における課題を中心に基調講演や議論がなされたほか、オンライン教育やディプロマミル、アクレディテーションミルといった最近の事例を扱った発表もありました。特に会合では、国境を越えた質保証について、情報・信頼・協調が欠如している現状が示され、それらの課題に対しては、質保証のネットワークを活用することによって克服していくべきであると提案されました。

当機構からは、岡本理事より日中韓3国の共同事業である「キャンパス・アジア」モニタリングの取組の成果について報告を行いました。また、分科会では金准教授よりアジアにおける国際共同教育プログラムの質保証のためのチェックリストの内容やその検証結果について発表しました。

最終日には総会が行われ、新たな加盟機関やリニューアルしたAPQNのウェブサイトについて紹介がありました。また、台湾高等教育評鑑中心基金会（HEEACT: Higher Education Evaluation and Accreditation Council of Taiwan）から、APQNにおける取組の一つとして、当機構と行ったスタッフ交流プログラムが紹介されました。



APQN 年次会合の参加者



「キャンパス・アジア」モニタリングについて  
発表する岡本理事

## 学位授与事業

### 短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

#### ■短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与

##### 〇302 人から学士の学位授与の申請　－平成 29 年度 4 月期申請分－

短期大学、高等専門学校卒業生及び専門学校修了者等 290 人から、19 専攻分野 33 専攻の区分にわたり学士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、平成 29 年 5 月 12 日（金）開催の学位審査会において機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、学位審査会では、修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

各専門委員会における修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を経て、平成 29 年 8 月 18 日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には平成 29 年 9 月末までに学士の学位を授与する予定です。

また、平成 29 年 2 月に「独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 学位取得者表彰規則」を制定し、当機構で学士の学位を取得した方のうち、生涯学習に努め、特に精励したと認められた方に対する表彰制度を創設しました。第 1 回の表彰は、平成 29 年度 4 月期及び 10 月期に学士の学位を取得した方から表彰者を決定し、平成 30 年 9 月頃に表彰式を実施する予定です。

なお、申請に当たっては、インターネットを利用して申請ができる「電子申請システム」を導入しており、郵送申請とあわせて利用されています。

高等専門学校の特例適用専攻科修了見込み者についても、12 人から 1 専攻分野 1 専攻の区分への特例による学士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、平成 29 年 5 月 12 日（金）開催の学位審査会において機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、学位審査会では、修得単位の審査及び学修総まとめ科目の履修に関する審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

各専門委員会における修得単位の審査及び学修総まとめ科目の履修に関する審査を経て、平成 29 年 8 月 18 日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には平成 29 年 9 月末までに学士の学位を授与する予定です。

＜平成 29 年度 4 月期学士の学位授与申請者数＞

(基礎資格別)

基 礎 資 格	申請者数 (人)
短期大学卒業者	72
高等専門学校卒業者	20 (12)
専門学校修了者	175
大学中退者	24
飛び級	0
大学卒業者	11
外国資格	0
合 計	302 (12)

※ ( )内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

(見込み申請者の内訳)

区 分	申請者数 (人)
短期大学専攻科修了見込者	0
高等専門学校専攻科修了見込者	12 (12)
合 計	12 (12)

※ ( )内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

(専攻の区分別)

専攻分野の名称	専 攻 の 区 分	申請者数 (人)
文 学	英語・英米文学	2
	独 語 ・ 独 文 学	1
	哲 学	1
教 育 学	教 育 学	11
社 会 学	社 会 福 祉 学	1
教 養	比 較 文 化	2
学 芸	科 学 技 術 研 究	1
法 学	法 学	2
経 済 学	経 済 学	1
商 学	商 学	1
経 営 学	経 営 学	2
理 学	数 学 ・ 情 報 系	3
	物 理 学 ・ 地 学 系	1
	生 物 学 系	1
	総 合 理 学	2
薬 科 学	薬 科 学	2
看 護 学	看 護 学	181
保 健 衛 生 学	検 査 技 術 科 学	3
	臨 床 工 学	14
	放 射 線 技 術 科 学	17
	理 学 療 法 学	8
	作 業 療 法 学	5
	言 語 聴 覚 障 害 学	2
鍼 灸 学	鍼 灸 学	1

柔道整復学	柔道整復学	1
栄養学	栄養学	6
工学	機械工学	7
	電気電子工学	2
	情報工学	2
	土木工学	1
	社会システム工学	3
商船学	商船学	12 (12)
農学	農学	1
芸術学	美術	2
合計		302 (12)

※ ( )内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

## 〇2,181 人に学士の学位を授与 —平成 28 年度 10 月期申請分—

平成 28 年度 10 月期に学士の学位授与申請のあった短期大学、高等専門学校卒業生及び専門学校修了者等 2,263 人のうち、2,181 人に対し学士の学位を授与しました。

今回の学士の学位授与については、関係各専門委員会で行われた修得単位の審査及び学修成果・試験の審査の結果に基づき、平成 29 年 2 月 15 日（水）開催の学位審査会において審査が行われました。

〈平成 28 年度 10 月期学士の学位授与申請者数及び取得者数〉

専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数（人）	取得者数（人）
文 学	国 語 国 文 学	6	5
	英 語 ・ 英 米 文 学	9 (4)	8 (4)
	歴 史 学	3 (2)	3 (2)
	心 理 学	3	3
教 育 学	教 育 学	188 (100)	181 (96)
神 学	神 学	2	1
社 会 学	社 会 学	4	2
	社 会 福 祉 学	1	1
教 養	比 較 文 化	6	6
	国 際 関 係	1	1
学 芸	比 較 文 化	2	2
社 会 科 学	社 会 科 学	2	1
法 学	法 学	2	1
経 済 学	経 済 学	2	1
経 営 学	経 営 学	17 (15)	16 (14)
理 学	数 学 ・ 情 報 系	3	0
	生 物 学 系	2	1
	総 合 理 学	1	0
薬 科 学	薬 科 学	1	1
看 護 学	看 護 学	299 (17)	279 (17)
保 健 衛 生 学	検 査 技 術 科 学	22 (11)	22 (11)
	臨 床 工 学	3	3
	放 射 線 技 術 科 学	12	10
	理 学 療 法 学	10	10
	作 業 療 法 学	4	4

	言語聴覚障害学	13	11
鍼灸学	鍼灸学	3	2
口腔保健学	口腔保健衛生学	48 (23)	48 (23)
	口腔保健技工学	5	5
栄養学	栄養学	57 (15)	49 (15)
工学	機械工学	390 (318)	380 (313)
	電気電子工学	436 (427)	432 (424)
	情報工学	185 (177)	179 (172)
	応用化学	193 (187)	193 (187)
	生物工学	23 (23)	23 (23)
	材料工学	36 (34)	35 (34)
	土木工学	113 (112)	112 (112)
	建築学	60 (59)	60 (59)
	社会システム工学	4 (4)	4 (4)
農学	農学	4	3
家政学	家政学	4	4
芸術学	音楽	41	40
	美術	42 (25)	39 (25)
体育学	体育学	1	0
合計		2,263 (1,553)	2,181 (1,535)

※ ( )内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

○これまでの学位授与の状況（学士）

<平成4年度～平成28年度>

専攻分野の名称	専攻の区分	取得者数(人)	専攻分野の名称	専攻の区分	取得者数(人)
文 学	国語国文学	209	保健衛生学	看護学	6,316
	英語・英米文学	144		検査技術科学	1,146
	独語・独文学	5		臨床工学	91
	仏語・仏文学	12		放射線技術科学	2,231
	中国語・中国文学	3		理学療法学	651
	ロシア語・ロシア文学	1		作業療法学	330
	歴史学	94		言語聴覚障害学	31
	哲学	12		視能矯正学	3
	心理学	62		鍼灸学	135
	宗教学	46		口腔保健学	348
教育学	教育学	3,241	口腔保健技工学	26	
神学	神学	24	柔道整復学	柔道整復学	3
社会学	社会学	30	栄養学	栄養学	2,584
	社会福祉学	72		機械工学	6,578
教 養	比較文化	19	工 学	電気電子工学	7,593
	地域研究	124		情報工学	2,623
	国際関係	8		応用化学	2,785
	科学技術研究	19		生物工学	448
学 芸	比較文化	6	芸術工学	材料工学	595
	地域研究	18		土木工学	2,327
	国際関係	3		建築学	1,191
	科学技術研究	23		社会システム工学	90
社会科学	社会科学	34	芸術工学	芸術工学	383
法学	法学	95	商船学	商船学	163
政治学	政治学	25	農学	農学	139
経済学	経済学	72	水産学	水産学	6
商学	商学	73	家政学	家政学	115
経営学	経営学	239	芸術学	音楽	1,254
理 学	数学・情報系	29		美術	3,501
	物理学・地学系	27	体育学	体育学	85
	化学系	19	合 計		48,638
	生物学系	36			
	総合理学	37			
薬学	薬学(～H21)	2			
薬科学	薬科学	4			

○短期大学及び高等専門学校の専攻科認定状況

平成29年4月現在

	区 分	平成28年度末時点 既認定専攻科数(a)	平成29年度 新規認定専攻科数(b)	平成29年度認定専攻科総数 (a+b)
短期大学 専攻科	文 学	4 [3]		4 [3]
	教 育 学	25 [22]	1 [1]	26 [23]
	社 会 学	1		1
	教 養	5 [3]		5 [3]
	看 護 学 ※	8		8
	保 健 衛 生 学 ※	4		4
	口 腔 保 健 学	6 [1]	1 [1]	7 [2]
	家 政 学 ・ 栄 養 学	10 [8]		10 [8]
	工 学 ・ 芸 術 工 学	2 [2]		2 [2]
	芸 術 学	9 [7]		9 [7]
	計	47校 74専攻[46]	2校 2専攻[2]	48校 76専攻[48]
高等専門学校 専攻科	経 済 ・ 商 学 ・ 経 営	2 [2]		2 [2]
	工 学 ・ 芸 術 工 学	109 [109]	3 [3]	112 [112]
	商 船 学	5 [5]		5 [5]
	計	56校 116専攻[116]	2校 3専攻[3]	56校 119専攻[119]
合 計	102校 190専攻[162]	4校 5専攻[5]	104校 195専攻[167]	

(注1) ※印の区分については、3年制の短期大学に置かれる1年制の専攻科である。

(注2) [ ] 内は、2年制の専攻科で内数。

(注3) 「合計」欄の学校数については、実数を記載（同一校において他の専攻科を認定したこと等により単純に累計とならない）。

## 機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

### ■機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

#### ○58人から修士の学位授与の申請－大学院修士課程相当の課程修了者－

大学院の修士課程に相当する教育を行う課程として認定されている各省庁大学校の平成29年3月修了者58人から、修士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、平成29年5月12日（金）開催の学位審査会において、機構長から学位授与の可否についての審査の付託があり、これを受けて学位審査会では、論文の審査及び試験を担当する専門委員会として、社会科学、理学、看護学・保健衛生学・鍼灸学、工学・芸術工学、水産学が指定されました。

各専門委員会における論文の審査及び口頭試問を経て、平成29年8月18日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、平成29年9月1日（金）に学位記伝達式を行い、合格者には各大学校を通して修士の学位を授与する予定です。

#### <修士の学位授与申請者数>

認定課程名	専攻分野	申請者数 (人)
防衛大学校 理工学研究科（前期課程）	理 学	6
	工 学	32
防衛大学校 総合安全保障研究科（前期課程）	安全保障学	5
水産大学校 水産学研究科	水 産 学	9
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科	看 護 学	6
合 計		58

#### ○7人から博士の学位授与の申請－大学院博士課程相当の課程修了者－

大学院の博士課程に相当する教育を行う課程として認定されている防衛大学校理工学研究科（後期課程）、防衛大学校総合安全保障研究科（後期課程）の平成29年3月修了者7人から、博士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、平成29年5月12日（金）開催の学位審査会において、機構長から学位授与の可否についての審査の付託があり、これを受けて学位審査会では、論文の審査及び試験を担当する専門委員会として、社会科学、理学、工学・芸術工学が指定されました。

各専門委員会における論文の審査及び口頭試問を経て、平成29年8月18日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、平成29年9月1日（金）に学位記伝達式を行い、合格者には各大学校を通して博士の学位を授与する予定です。

#### <博士の学位授与申請者数>

認定課程名	専攻分野	申請者数 (人)
防衛大学校 理工学研究科（後期課程）	理 学	1
	工 学	5
防衛大学校 総合安全保障研究科（後期課程）	安全保障学	1
合 計		7

## ○これまでの学位授与・課程認定の状況

### 1 大学の学部に対応する教育を行う課程

平成 29 年 3 月 31 日現在

認 定 教 育 課 程	認 定 年 月 日	修業 年限	入学 定員	取得者数 累計	授 与 す る 学 位 ( 専 攻 名 )
防衛医科大学校 医学教育部医学科	平成 3 年 8 月 30 日	6 年	80	1,661	学士 (医学)
防衛大学校 本科	平成 3 年 12 月 18 日	4 年	530	10,439	学士 (理学、工学、 人文科学または社会 科学)
水産大学校 本科	平成 3 年 12 月 18 日	4 年	185	4,634	学士 (水産学)
海上保安大学校 本科	平成 3 年 12 月 18 日	4 年	60	1,004	学士 (海上保安)
気象大学校 大学部	平成 3 年 12 月 18 日	4 年	15	352	学士 (理学)
職業能力開発総合大学校 長期課程 ※平成 29 年度末廃止予定	平成 3 年 12 月 18 日	4 年	120	4,930	学士 (工学)
国立看護大学校 看護学部看護学科	平成 13 年 3 月 26 日	4 年	100	1,246	学士 (看護学)
職業能力開発総合大学校 総合課程	平成 24 年 2 月 13 日	4 年	80	142	学士 (生産技術)
防衛医科大学校 医学教育部看護学科	平成 29 年 2 月 15 日	4 年	120	-	学士 (看護学)
合 計				24,408	

### 2 大学院の修士課程に対応する教育を行う課程

認 定 教 育 課 程	認 定 年 月 日	修業 年限	入学 定員	取得者数 累計	授 与 す る 学 位 ( 専 攻 名 )
防衛大学校 理工学研究科前期課程	平成 3 年 12 月 18 日	2 年	90	1,554(42)	修士 (理学または 工学)
職業能力開発総合大学校 研究課程 ※平成 24 年度末廃止	平成 3 年 12 月 18 日	2 年	-	470(78)	修士 (工学)
水産大学校 水産学研究科	平成 6 年 6 月 23 日	2 年	10	211(24)	修士 (水産学)
防衛大学校 総合安全保障研究科前期課程	平成 9 年 3 月 11 日	2 年	20	310(98)	修士 (安全保障学)
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科前期課程	平成 17 年 2 月 10 日	2 年	15	86(51)	修士 (看護学)
職業能力開発総合大学校 長期養成課程職業能力開発研究学域	平成 28 年 2 月 12 日	2 年	20	-	修士 (生産工学)
合 計				2,631(293)	

### 3 大学院の博士課程に相当する教育を行う課程

認定教育課程	認定年月日	修業年限	入学定員	取得者数 累計	授与する学位 (専攻名)
防衛医科大学校 医学教育部医学研究科	平成3年8月30日	4年	30	461(0)	博士(医学)
防衛大学校 理工学研究科後期課程	平成13年3月12日	3年	20	79(6)	博士(理学または工学)
防衛大学校 総合安全保障研究科後期課程	平成21年2月13日	3年	7	14(0)	博士(安全保障学)
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科後期課程	平成27年2月13日	3年	3	-	博士(看護学)
合 計				554(6)	

( )内は修了見込申請で内数

## 評価事業

### 国立大学法人等の教育研究評価について

#### ○国立大学法人等の第2期中期目標期間における教育研究の状況の評価結果について

当機構では、文部科学省の国立大学法人評価委員会からの要請を受け、国立大学法人及び大学共同利用機関法人の第2期中期目標期間（平成22年度から平成27年度）における教育研究の状況の評価を実施し、平成29年4月に評価結果を取りまとめ、文部科学省の同委員会に提供しました。

なお、最終的な評価結果は、平成29年6月6日に開催された文部科学省の同委員会で決定されました。

評価結果については、[当機構のウェブサイト](#)に掲載するなど、広く社会に公表しています。

#### <対象法人>

90法人（国立大学法人86法人、大学共同利用機関法人4法人）を対象として実施

## 質保証連携

### 諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

#### ○平成29年度大学質保証フォーラム開催決定

平成29年8月7日（月）に一橋講堂にて、平成29年度大学質保証フォーラム「教員と職員・学生のための大学をつくる・」を開催します。今回の大学質保証フォーラムでは、米・英・豪の大学や質保証関係者の経験からさまざまな実践を理解し、教員と職員の質をいかに向上させ、両者が役割をどのように分担していくべきかについて明らかにしていきます。

また、フォーラムの翌日午前には関連する公開研究会を行います。フォーラムに登壇する2名の外国人有識者を招き、教職協働にかかる考え方や海外の実践について理解を深めていく場にしていきます。

フォーラムおよび公開研究会の詳細及び事前参加登録の情報は、[当機構のウェブサイト](#)に掲載しています。ぜひご覧ください。

## 機構の窓

### ○会議の開催状況

#### ・学位審査会

第1回 平成29年5月12日(金) 15:00~16:30

#### 議事

- 1 学位取得者数について
- 2 短期大学及び高等専門学校卒業者等に係る学士の学位授与の審査の付託について
- 3 認定課程修了者に係る修士の学位授与の審査の付託について
- 4 認定課程修了者に係る博士の学位授与の審査の付託について
- 5 平成29年度認定課程に係る教育の実施状況等の審査について
- 6 平成30年度認定課程に係る教育の実施状況等の審査対象の選定について
- 7 高等専門学校の専攻科に係る認定の審査の付託について
- 8 短期大学及び高等専門学校の認定専攻科の特例適用認定に係る審査の付託について
- 9 平成29年度特例適用専攻科に係る教育の実施状況等の審査対象校からの組織改編に伴う認定申出と審査について
- 10 その他

#### ・大学機関別認証評価委員会

第1回 平成29年5月22日(月) 14:00~16:00

#### 議事

- 1 評価部会の編成等について
- 2 運営小委員会の編成について
- 3 大学機関別認証評価自己評価実施要項等について
- 4 大学機関別認証評価に係る3巡目の評価基準等の検討について
- 5 その他

■ 委員の異動

○ 学位審査会審査委員

学位審査会審査委員3人が退任され、新たに3人の方々が就任されました。

・退任（平成29年3月31日辞任）

氏名	退任時の職	在任期間
酒井善則	放送大学特任教授	平成19年4月20日～平成29年3月31日
鈴木恵美子	お茶の水女子大学教授	平成25年4月15日～平成29年3月31日
松尾大	東京藝術大学教授	平成24年4月16日～平成29年3月31日

・学位審査会審査委員19人

任期は平成28年4月18日～平成30年3月31日（新任3名の任期は平成29年4月17日～平成30年3月31日）

氏名	現職	氏名	現職
◎大芝亮	青山学院大学教授	塚本幾代	広島国際大学教授
大野徹也	東京学芸大学教授	中村聡	東京工業大学教授
奥田晴樹	立正大学教授	奈良信雄	大学改革支援・学位授与機構特任教授
奥乃博	早稲田大学教授	西出和彦	東京大学教授
○影山和郎	東京大学教授	野坂泰司	学習院大学教授
菊池和朗	大学改革支援・学位授与機構特任教授	藤田静雄	京都大学教授
越光男	大学改革支援・学位授与機構特任教授	本田彰子	東京医科歯科大学教授
佐藤慎司	東京大学教授	柳本雄次	東京家政大学特任教授
椎原伸博	実践女子大学教授	吉川裕美子	大学改革支援・学位授与機構教授
高戸毅	東京大学教授		

■は新任（◎:委員長、○:副委員長）

○ 大学機関別認証評価委員会委員

大学機関別認証評価委員会委員のうち2人が退任され、新たに1人が就任されました。

・退任（平成29年4月30日任期満了）

氏名	退任時の職	在任期間
浅原 利正	広島県病院事業局・病院事業管理者	平成26年5月1日～平成29年4月30日
野嶋 佐由美	高知県立大学副学長	平成26年5月1日～平成29年4月30日

・大学機関別認証評価委員会委員24人（任期は、平成28年5月～平成30年4月）  
（室伏委員の任期は平成29年5月～平成30年4月）

氏名	現職	氏名	現職
荒川 正昭	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター長	中島 恭一	富山国際大学長
アリソン・ピール	オックスフォード大学日本事務所代表	濱田 純一	放送倫理・番組向上機構理事
稲垣 卓	前 福山市立大学長・福山市政策顧問	早川 信夫	日本放送協会解説委員
及川 良一	国立音楽大学教授	古沢 由紀子	読売新聞東京本社論説委員
荻上 紘一	大学評価・学位授与機構名誉教授	前田 早苗	千葉大学教授
片山 英治	野村證券株式会社主任研究員	室伏 きみ子	お茶の水女子大学長
川嶋 太津夫	大阪大学教授	柳澤 康信	岡山理科大学長
下條 文武	新潟大学名誉教授	山極 壽一	京都大学総長
近藤 倫明	北九州市立大学学長特別顧問	山本 健慈	国立大学協会専務理事
○佐藤 東洋士	桜美林学園理事長・桜美林大学総長	山本 進一	名古屋大学名誉教授・岡山大学名誉教授
鈴木 賢次郎	東京大学名誉教授・大学改革支援・学位授与機構名誉教授	◎吉川 弘之	科学技術振興機構特別顧問
土屋 俊	大学改革支援・学位授与機構教授・幹事	吉田 文	早稲田大学教授

■は新任（◎:委員長、○:副委員長）

○ 高等専門学校機関別認証評価委員会委員

高等専門学校機関別認証評価委員会委員のうち1人が退任され、新たに1人が就任されました。

・退任（平成29年4月30日任期満了）

氏名	退任時の職	在任期間
越 光 男	大学改革支援・学位授与機構特任教授	平成28年5月1日～平成29年4月30日

- ・高等専門学校機関別認証評価委員会委員18人（任期は、平成28年5月～平成30年4月）  
（井上委員の任期は平成28年5月～平成30年3月）  
（菊池委員の任期は平成29年5月～平成30年4月）

氏名	現職	氏名	現職
揚 村 洋一郎	東海大学付属仰星高等学校・中等部 校長	但 野 茂	函館工業高等専門学校長
荒 金 善 裕	前 東京都立産業技術高等専門学校長	田 中 英 一	東海職業能力開発大学校長
有 信 睦 弘	理化学研究所理事 日本技術者教育認定機構会長	徳 田 昌 則	東北大学名誉教授
井 上 光 輝	豊橋技術科学大学理事・副学長	○長 島 重 夫	元 (株)日立製作所教育企画部シニアコンサルタント
鎌 土 重 晴	長岡技術科学大学理事・副学長	中 野 裕 美	豊橋技術科学大学教授・学長補佐
萱 島 信 子	国際協力機構 JICA 研究所副所長	廣 畠 康 裕	大学改革支援・学位授与機構特任教授
菊 池 和 朗	大学改革支援・学位授与機構特任教授	三 谷 知 世	宇部工業高等専門学校長
黒 田 孝 春	大学改革支援・学位授与機構客員教授	◎武 藤 睦 治	長岡技術科学大学名誉教授
佐 藤 知 正	東京大学名誉教授	村 田 圭 治	近畿大学工業高等専門学校長

■は新任（◎:委員長、○:副委員長）

○法科大学院認証評価委員会委員

法科大学院認証評価委員会委員のうち1人が退任され、新たに1人が就任されました。

- 退任（平成29年3月31日任期満了）

氏名	退任時の職	在任期間
茂木善樹	法務省法務総合研究所総務企画部付	平成26年5月1日～平成29年3月31日

- 法科大学院認証評価委員会委員23人（任期は、平成28年5月～平成30年4月）  
（野原委員の任期は平成29年5月～平成30年4月）

氏名	現職	氏名	現職
○磯村保	早稲田大学教授	土屋美明	共同通信社客員論説委員
逢見直人	日本労働組合総連合会事務局長	中川丈久	神戸大学教授
大澤裕	東京大学教授	野坂泰司	学習院大学教授
加藤哲夫	早稲田大学教授	濱田毅	同志社大学教授
紙谷雅子	学習院大学教授	松下淳一	東京大学教授
唐津恵一	東京大学教授	三角比呂	司法研修所教官
木村光江	首都大学東京教授	牟田哲朗	平和台法律事務所弁護士
小林哲也	小林総合法律事務所弁護士	村中孝史	京都大学教授
佐伯仁志	東京大学教授	野原一郎	法務省法務総合研究所総務企画部付
潮見佳男	京都大学教授	山本和彦	一橋大学教授
龍岡資晃	西総合法律事務所弁護士	吉原和志	東北大学教授
◎田中成明	京都大学名誉教授		

■は新任（◎:委員長、○:副委員長）

## 主要行事日程

### ○ Schedule

6月

日	行事名	担当課
4日	<a href="#">大学改革支援・学位授与機構試験</a> （東京・大阪）	学位審査課
14日	高等専門学校機関別認証評価に係る評価担当者に対する研修	評価支援課
15日	法科大学院認証評価に係る評価担当者に対する研修	評価支援課
19日	<a href="#">法科大学院認証評価に関する説明会</a>	評価支援課
19日	<a href="#">平成30年度に実施する法科大学院別認証評価等に関する自己評価担当者等に対する研修会</a>	評価支援課
20日	大学機関別認証評価に係る評価担当者に対する研修	評価支援課
21日	<a href="#">第46回国立大学教育研究評価委員会</a>	評価企画課
23日	法科大学院認証評価に係る評価担当者に対する研修	評価支援課
26日	<a href="#">平成30年から実施する3巡目の高等専門学校機関別認証評価に関する説明会</a>	評価支援課

8月

日	行事名	担当課
7日	<a href="#">平成29年度大学質保証フォーラム</a>	国際課
18日	<a href="#">学位審査会（平成29年度第2回）</a>	学位審査課
28日	大学ポートレート（国際発信版）に関する説明会	評価企画課



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構